

Okahata

NEWS LETTER

vol.36

2024

5

2025年春、 岡畑興産本社が生まれ変わります。

R	E	N	O	V	A	T	E
E	E						
B		N					
O			E				
R				W			
N							

2024 **6/24**^{mon} ~

本社リノベーション完成まで
仮移転します。

2025

京阪淀屋橋駅 北浜駅→

淀屋橋駅 17番出口直結

here!

〒541-0041
大阪市中央区北浜3丁目2-25
京阪淀屋橋ビル 9F
オープンオフィス内
TEL / 06-6251-8252 (代表)

contents

- “滑らせる”離型剤
- 最近のくつナビー — 旅するOkahata Shoes
- PCHI レポート
- 今しか書けない父のこと : Part-1
- 事業報告書

“滑らせる”離型剤 デビュー!

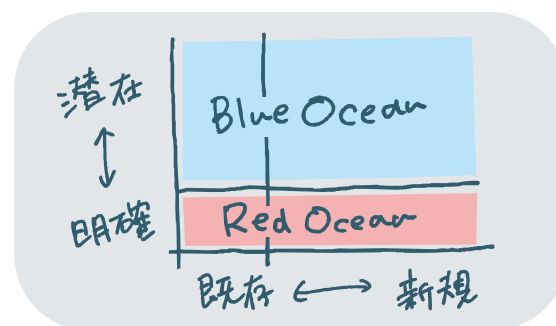
岡畑興産を「**見えないものを見ようとする会社**」と説明して、キョトンとされました。岡畑典裕です。

「イノベーションに食らいつけ」「よう分からん世界を分かりやすく」「78歳のベンチャー企業」「皆さんのスキャンクワークス／出島組織」「デビュー待ち新素材のコンテンツ作りはじめました／御社の原石、デビューさせます」とか、今までもみんなで散々妄言を吐いてきましたが、

見えないものを、**フィジカルに。形に。**言語にして、**知りたい人の手の届く場所に**そっと置いておく。時が来て、ひとりに響き、ふたりを動かし、妄想から具体へ、ビジネスアイデア、Product Market Fitに繋がっていくんだらうと心から信じてやっています。

みんなが見える仕事＝レッドオーシャン

みんなが見えない仕事＝ブルーオーシャン



後者を目指すからこそ、岡畑興産は、今日も打席に向かいバットを振る、次の電柱／コーナーまで走る。書いて、発信し続けるんです。

ここから本題。

2021年秋、社名を出さない条件で、コンテンツ化を許してもらって、社長自ら書いた、「用途不明無収入」^(※1)な技術紹介ブログ記事、「すごいかもしれない、離型剤(テスト品)」^(※2)：[👉Click](#)

その後、弊社で営業し続けること数年、やっと発表出来る製品になりました 🎉

2024年4月のプレスリリース：[👉Click](#)

あの時のテスト品が、涙涙の、製品デビューです。

(Product Market Fitのお手伝いをさせていただいたのですが、苦節2年半、みんな営業頑張りました!)



言いたいのは、岡畑興産は手数を惜しまず、コンテンツ空中戦から、足で稼ぐ地上戦営業まで、やれることは全部やる、手数の多い専門商社、貿易商社だってことです。



デビュー待ち 新素材の

コンテンツ作り、はじめました: [Click](#)

当時、数年早過ぎたかもな、こんなランディングページも必死で作ってましたね。

スティーブ・ジョブズは言ってませんが、**More Dots, More Businesses.**
More手数、Moreビジネス。

岡畑興産は、“**見えないことが見える**”まで、筋の良い手数打ちますよ。お仕事の依頼、お待ちしております。

社長からは以上です。

(*1) “用途不明無収入”は、細野晴臣さんの「住所不定無職低収入」へのオマージュであることは、どうでもいい余談です。

(*2) 2021年秋に書いた前述のブログはAmazonのことを書いた「Working Backwards」に着想を得たもの。

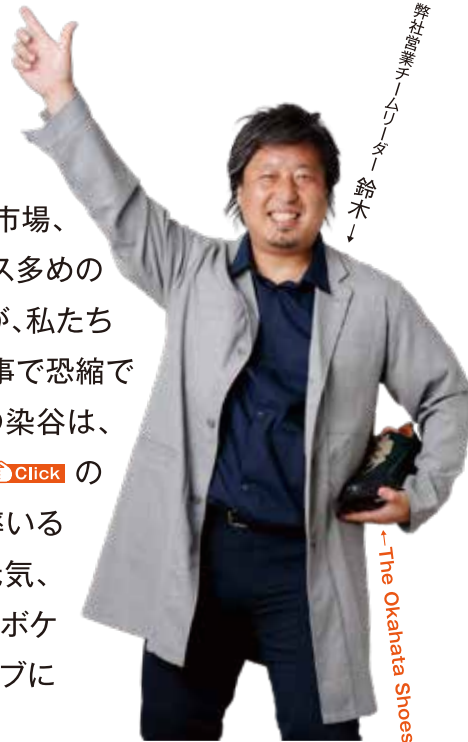
最後に：離型剤って何という方は、こんなブログもありますよ。

岡畑興産ブログ：離型剤とは [Click](#)

旅する Okahata Shoes

米本 弘

スニーカーブームの
終焉、元気のない欧米市場、
円安云々、暗いニュース多めの
フットウェア業界ですが、私たち
はいたって元気。社内事で恐縮で
すが、靴受託事業部の染谷は、
Okahata Awards [Click](#) の
MVPに輝き、営業を率いる
チームリーダーは、「元気、
やる気、ボク鈴木」と大ボケ
をかまし続け、ポジティブに
営業活動中。



靴のクリエイター達と会話していると、ハッとさせられる
面白いテーマやプロジェクトが多く、話は弾みます。私たち
は、クリエイターの構想妄想という**無形のアイデアを、
有形のプロダクトにする**導きの伝道師、、、とはちと言
過ぎか。でも、頼られ、いろんな声のかかるフットウェア事
業でありたいと思い、くつナビでの情報発信に加えて、
「フィジカルに。形に。」の第二弾、Okahata Shoes 2も
完成。



実はこのOkahata Shoes 2、**私たちのSecret Sales Rep.**として、世界を旅しています。使用材料のメーカー様の海外展示会に貸し出されたり、社内プレストに使われたり、(ここだけの話、営業以上に 笑)ひっぱりだこなのです。

くつナビも、Okahata Shoesも、24時間x世界のどこかで、“靴でまだまだできること”を考える一助になっていると思うと、嬉しく思います。

この弊社イチオシ素材てんこ盛りの“**世界を旅する、Okahata Shoes 2**”。

展示会ディスプレイや社内プレスト用貸し出し、営業プレゼンのご用命はたまた、こんな素材をOkahata Shoesに使って欲しい的ご提案、お待ちしております。



ということで今月のくつナビ、暑くなる季節の前にこんな記事はいかが。

- **足のおい対策をご紹介!** [LINK](#)
おいの原因や発生する仕組みも確認
- **靴の乾かし方を解説!** [LINK](#)
乾かす際に注意すべきポイントも
- **ビーチサンダルを履いていたら足が痛い!** [LINK](#)
痛くなってしまった場合の対処法、予防法は?
- **メッシュ素材とは?** [LINK](#)
特徴やメリット、用途について解説!
- **スニーカーの加水分解とは?** [LINK](#)
起こる原因や防ぐ方法、修理法も解説

Personal Care and Homecare ingredients,
パーソナルケアとホームケア原料展、
PCHi上海2024レポート!

中国化粧品原料展

PCHi 2024に 3拠点10名で、 25年は自社ブース!



萩田です。

社内事です、化粧品原料×東アジア＝岡畑興産、
を目指し、日韓中「化粧品プロジェクト」を立ち上げ、
約10年が経ちました。

思えば、こんな原料とか。

- **ヒアルロン酸** [Click](#)
- **グリチルリチン酸ジカリウム** [Click](#)
- **アルキルベタイン** [Click](#)
- **IPMP** [Click](#)

10年目を記念して(嘘)、日・韓・中のプロジェクトメンバー総勢10名が3月下旬上海に集結し、PCHi 2024に参加してきました。早速、上海駐在の竹内から現地レポートをお届けします!



竹内です。

PCHIは、毎年開催、場所は広州と上海で持ち回りで、今年は上海にて2024年3月20日～3月22日の3日間開催されました。約770社の出展と30,000人以上の来場者が参加する、この業界では中国最大の展示会で、中国メーカーのみならず、日本、韓国、米国、ドイツ、フランスほか、たくさんの国のメーカーが出展しています。



展示内容として気になったのが、ヘアケア製品に欠かせない、**アミノ酸系界面活性剤!** [Click](#)

弊社注力材料の一つですが、我々さえ知らないメーカーも数多く出展されており、今後の品質の向上やコスト競争力にも期待出来そうです。また植物由来製品も多く、日本ではあまり見られない植物を原料にしたオイルや香料、漢方薬の様な原料も気になる、気になる!

今回岡畑興産グループから上海に集まったのは、

日本:張、吉江、尾崎、川野

韓国:林、朴、金

中国:徐、竹内、蔣

という、こちらも国際色豊かな、化粧品プロジェクトの精鋭たち!

我々の展示会ミッションは大きく2つ、

1. 既存取引先メーカー様へのご挨拶、打ち合わせ、懇親会。

▶▶ 昼間の打ち合わせより、夜の懇親会がハードです(笑)。

2. これからお世話になりたい、
新たな素材、メーカーの調査発掘。

▶▶会場しらみつぶしで歩き喋るので、
喉と足腰にハードです。

ミッション達成のため、3カ国10名のメンバーが入り
乱れ、3日間フル活動!近日中に新たな中国発信の商
材を抱えて日韓の営業担当者がそれぞれのお客さま
に報告に伺いますので、首を長くしてお待ちください。

現地竹内からは以上です!



手応えを感じた(≒調子に乗った)新米駐在員の竹
内が、「来年は是非、出展したい!」と言い出し、当日
展示会場で申し込み、出展権利を獲得。何を展示す
るか何も決まってませんが(汗)、「はじめなければ、
はじまらない」がモットーの岡畑興産は、

PCHi 2025年@広州に出展いたします!

**日本の化粧品素材メーカー様、中国市場へ展開
したい「新素材」本日より大募集。お声かけ、お待ち
しております。**

岡畑興産のどこでもひとり展示会「どこ展」 [👉Click](#)

岡畑興産のアジアソーシング [👉Click](#)

以上、萩田でした!




今しか書けない、父の話 : Part-1

岡畑典裕

「もう報告に来なくていい」

父、前会長の岡畑精記は、アジア・アメリカに広がる今の海外取引のベースを築いた、岡畑興産の中興の祖です。引退後、和歌山のクラシック音楽普及のために尽力していた父が、当年2月27日に天寿を全うしました。



訃報は、2月27日。自ら仕掛けた北米企業への経営参画を決め、ガッツポーズした日の午後のこと。ひとつの時代が終わる前に、ギリギリ新しい時代を始められたような、不思議な一日でした。

今、思い出すのは、「**仕事には、一生を賭けるだけの価値がある。社員が家族に誇れる会社にしよう**」という父の言葉です。必ずしも仲が良いという家族ではありませんでしたが、父が理想とした「一生を賭けるだけの価値がある、家族に誇れる会社」には、少しは近づけたのではないかと、思っています。

父にいちばん感謝しているのは、社長になってすぐ「**もう報告に来なくていい**」と言ってくれたこと。それ以来、本当に一度も、報告も経営の話さえしていません。

1

「このクソ社長」から「このクソ会長め」に変わった日



当時の会長報告会は、業績も雰囲気も最悪でした。未熟な私は、「答えが分からないくせに何を偉そうに」と愚痴まみれのネガティブな空気を吐き出しながら、それさえも、全て父が悪い、「このクソ会長め」と本気で思っていました(穴があったら入りたい)。

“リーダーは機嫌よく”がモットーの今、思い返せば、“機嫌の悪い”時代でした。リーダーの自分がこの体たらくでは、結果なんて出る訳がなかったのです(いわんやチーム・ビルディングなんて)。

そんな“不機嫌”なダメ社長も、会長報告に行かなくなって、悪の根源／全責任は「このクソ社長」にあると気付いてしまったのです。この気付きは、デカかった(でも気付きだけじゃ全然足りなかった)。

2

「会長マター」(って、社長の責任逃れでしょ)



額面上は、会社で起きている全ては、社長の責任。開発が頓挫するのも、強い商材が見つけれないのも、人が辞めるのも、全部社長の責任。じゃ、社長自ら全力で解決に動いていたかというと。。。

会長マター。誰々マター。大事なのは結果を出すことなはずなのに、人間は、すぐ誰々マターとか言って、言い逃れ、愚痴るようにできているのです。岡畑典裕を筆頭に。

マターマター言っても、できる人は、水面下でやれることやり切っている(肅々と準備して、その時を待っている)。

僕は、マターマター言ってるだけの、できない人でした。「これは会長案件」=自分の仕事じゃないと、心のどこかで、勝手に決めつけていたから。**会長の存在は、足枷だと思っていたから。**



3

“気付いた”のはいいものの （引き出しがない）

過ちに気付いたが吉日、さあ世界を会社を変えてやろうとばかりに、いざ手を打ってみても、やることなすこと、変わり映えしない。。

そりゃそうで、**自分の持ってる経営的引き出しは、知らず知らず、父の受け売り。**そのくせ、(安全な場所からの)会長批判に忙しく、自分の経営の型を作るための学び/手数/失敗の数も、全然足りてない。

4

書を持って、外に出よう ..メンターと経営の原理原則



学びの手数を求めて、書を持って、外に出よう。メンターと経営のお師匠さまを外に求めたのです。

メンターとの邂逅:

当時、中小商社の社長たるや、製品を自ら売り込み、歌って踊れるスーパー営業マンたれ、というステレオタイプに囚われていたのですが、今思うと、自分の得意/個性とは全くフィットしていないから、無理がある=うまくいくわけない。

そんな中、運命的か必然か、飄々とリラク
シン、声は小さく、淡々と、大きな変化を
生みだす、とある社長(Sさん)と出会った
のです。

言うことなすこと、少し変わっていて、組
織の組み方もちょっと変(お前が言うな
笑)なんですけど、ひとつひとつ布石が
あって、芯がある。自分を知り、自分のス
タイルに正直に経営をされる方。

経営の型はひとつじゃない。自分に無理
せず、自分なりのやり方で経営すればい
い、そんな後押しをいただいた出会いで
した。

これが、岡畑典裕×岡畑興産でしか出来
ない、自由な経営の型探しのスタートでし
た。人と組織のフィットの前に、社長と組
織のフィットをよくしようっていう話。

人財育成しません宣言  の原点かも
しれません。

ありがたい姿は、決まった。あとは、…

続きは、Part-2:

- 経営の師匠との出会い
- 新将命先生の「経営の教科書」と原理原則
- 学び方の原理原則:
著者が乗り移るくらい、頭に叩き込むこと。
- 乗り移ったら、即実戦投入:
手数(とズレ補正)の多い経営を。
- 人生も経営も、他人が散らかした机を
片付けるみたいなもの。

2023年度 事業報告書

■ 編集後記

自立と依存——真に支えるということ

(社内報Gazette2024年4月号より転載)

MLB、NPBが開幕し、休みの日は朝から晩まで野球観戦という方もいるのではないのでしょうか。どうしても優勝したい大谷翔平選手はドジャースに移籍、これから……という矢先に水原一平氏のキャンブルスキャンダルに巻き込まれ、未だにすっきりしないままプレイを続けています。

彼のマンダラチャートはかなり有名になりましたが、それには「リスク管理」とか「語学力」といった項目はありません。大好きな野球に一途に取り組んでいた純な高校生に「リスク管理」は酷な話かもしれませんが、少なくともMLBに行く夢を持っていたなら英語力の必要性を感じていたのではないかと思います。

日ハム時代に水原氏と出会い、空き時間に英語を学んでいたようですが、単身で海外に渡りキャリアを築き上げていく大変さを考えると、英語も堪能で日米双方のことにも詳しく、配慮も行き届いていたという水原氏に通訳も私生活も「おんぶに抱っこ」の依存状態になってしまったことを無責任に批判することはできません。しかし一方で、野球人である前に一人の人間としてもう少し自立した生活をおくる努力をしていれば、英語力も金銭感覚もそして人間力も今より数段上がっていたのではないかと思います。

ロバーツ監督は水原通訳の存在を“buffer”という言葉を使い、それがなくなり大谷と直接コミュニケーションがとれるようになってチームとしては良かったと話しています。日本のメディアは buffer を緩衝材と訳していましたが、something or someone that helps protect from harm という意味合いを適切な日本語で表現するのは難しいように思われます。

迷ったり、失敗したりする子供や後輩、あるいは障害者、高齢者に良かれと思って助け舟を出すことがかえってその人の成長や自立心を阻害する“buffer”になることはどんな環境でもあり得ます。彼らの行動や判断に対して時にはいら立ちを覚えたり不安になることがあったとしても、敢えて我慢して手を出さず見守るという姿勢が、真に支えることの第一歩なのではないかと再認識させられた事件でもありました。(kiki)

ニュースレター **バックナンバー**はこちら



岡畑興産株式会社 ニュースレター／不定期発行

2024年5月7日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2024.5.7 / Issue 036

© 2024 オカハタとアイデアと